



初夏の都井岬を満喫  
「都井岬春駒フェスタ2011」

5月1～5日、都井岬で「春駒フェスタ2011」がありました。地場産品の出店やキッズ広場を特設し、県内外から多くの来場者を迎えました。3日は、同ビクターセンターで『日本のたこの会』会員の指導のもと、和たこづくりのイベントがありました。あいにくの雨により、たこ揚げは中止となりましたが、参加した子どもたちは、自作の和たこを手にはしゃぎしていました。



トークライブに沸いた  
「第3回わくわく温泉市」

5月4～5日、串間温泉いこいの里で「第3回わくわく温泉市」がありました。4日は好天にも恵まれ、多くの行楽客が訪れました。駐車場には海産物や軽食販売のほか、フリーマーケットも出店。内庭のバラも見ごろを迎え、会場内を散策する家族連れの姿が見られました。また、タレントの大森うたえもんさんらのトークライブもあり、会場には笑い声が響いていました。



絶景で舌つづみ  
「笠祇焼肉フェスティバル」

5月1日、笠祇岳山頂でむらおこし笠祇クラブ（中山満彦会長、11人）主催による「第18回焼肉フェスティバル」がありました。市内外から約200人が参加、笠祇岳からの景色を楽しみながら焼肉に舌つづみを打ちました。中山会長は「多くの参加者に感謝していただき。昨年は口蹄疫のため開催できなかったのですが、今年はその分も含めて盛り上がりたいたいです」と笑顔で話していました。



「地域づくり激励賞」を受賞！  
くしま商道芸人

5月9日、宮崎県庁で平成23年度宮崎県地域づくり顕彰授賞式があり、くしま商道芸人が、「地域づくり激励賞」を受賞しました。同賞は、本県の地域振興に関し、特に功績のあった団体などに贈られるもの。同団体が、福祉施設などで披露してきたパフォーマンスが地域活力の向上に貢献したとして、高く評価されました。ますますの活躍が期待されます。頑張れ！ 商道芸人。



馬伝染性貧血の実態把握へ  
過去最大規模の「馬追い」

5月14日、都井岬で都井御岬牧組合の組合員や宮崎大学の学生、市職員ら約100人による馬追いがありました。今回の馬追いは、岬馬5頭への感染が確認された馬伝染性貧血の実態把握に向けたものです。現在、都井岬には114頭の岬馬が生息。全頭において血液検査するため、過去最大規模の人員を配置しました。翌15日も追い込みを続け、過去最大の96頭を収容しました。



串間食材で「くしま新グルメ開発  
「くしま新グルメ試食会」

5月19日、南九州液化ガス（株）ショールームでひむかどりームプロジェクトが「くしま新グルメ試食会」を開きました。試食会は、同プロジェクトが串間の食材を使ったご当地グルメの開発に向け企画したものです。試食メニューは、同プロジェクトとプロの料理人が考案した海幸山幸を盛り込んだ6品。一般公募による市民モニターの女性7人が活発に意見を交換しました。



市職員が被災地支援活動へ  
「派遣職員の壮行会」

5月18日、市役所1階ロビーで東日本大震災の支援活動に派遣される職員4人の壮行会がありました。派遣先は、宮城県気仙沼市。期間は、5月20～28日と同26日～6月3日に各2人の職員が派遣されます。派遣職員を代表し、串間市民病院の吉岡久文事務次長が「元気に行ってください」とあいさつしました。現地では、罹災証明書の発行や支援物資の仕分けなどを行う予定です。



「水」はどこから？  
西区浄水場を小学生が見学

5月23日、金谷小学校と笠祇小学校の3～4年生児童12人が、福島区穂佐ヶ原にある西区浄水場を見学に行きました。見学は、社会科学授業の一環で、安全できれいな水をつくるための施設やしづくみについて学ぶためのもの。児童は、上下水道課職員の案内の下、施設内をくまなく見てまわりました。また、説明にも熱心に耳を傾け、積極的に質問するなどの光景もみられました。

